

航空自衛官の健康診断データ及びメンタルヘルスチェックデータを用いた、生活習慣病に関する疫学的・心理学的研究

### 1. 研究の対象

2013年4月1日から2021年3月31日までに健康診断、部内診療、部外病院の通院及びメンタルヘルスチェックを受けた航空自衛隊の自衛官及び事務官等

### 2. 研究目的・方法・期間

本研究は、一般的な生活習慣や自衛隊特有の環境要因が、糖尿病や高血圧、脂質異常症といった生活習慣病の発症に与える影響を検討する目的で行う研究です。方法としては、航空自衛隊が保有している健康診断データや診療データ（レセプトデータ）、メンタルヘルスデータを活用し、生活習慣といった広く一般にみられる疾病の発症について、疫学的な面及び心理的な面の両面から関係を検討します。期間としては、学校長承認後より2027年3月31日までを予定しています。

生活習慣病は、脳梗塞や心筋梗塞といった動脈硬化性疾患の強い危険因子であり、健康診断による早期発見により予防が推進されています。データベース化された健康診断や診療データは、生活習慣病発症前からの全般的な健康状態、その後の通院状況が把握できる貴重なデータです。また、ストレスは生活習慣病発症のリスクであるとともに、ストレス自体が動脈硬化性疾患のリスクでもあります。防衛省では平成25年から毎年メンタルヘルスチェックをおこなっており、健康診断データと合わせて解析することで心身両面からの検討が可能です。

本研究の成果は、部隊に還元することで防衛省・自衛隊の人的戦力の向上に寄与するとともに、広く社会に自衛隊発の健康情報を発信する期待があります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

健康診断で得られた採血データ（血糖値やコレステロール値等）や、糖尿病や高血圧での受信状況、メンタルヘルスチェックからわかる抑うつ程度のデータ等を解析します。カルテ番号や生年月日、イニシャルといった個人を特定する情報は用いません。航空自衛隊内において匿名化後、防衛医科大学校において研究を開始します。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

防衛医学研究センター 行動科学研究部門 准教授 江戸 直樹

#### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県所沢市並木3-2 防衛医学研究センター  
行動科学研究部門 准教授 江戸直樹（研究責任者）  
04-2995-1221（代表）